

社会資本総合整備計画

鷺沼駅周辺地区市街地の活性化(第1期計画)(第4回変更)

令和7年1月

神奈川県川崎市

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	鷺沼駅周辺地区市街地の活性化（第1期計画）	重点配分対象の該当	-
計画の期間	令和2年度～令和6年度（5年間）	交付対象	川崎市
計画の目標			

鷺沼駅を中心に、商業、都市型住宅、公共機能、交流、子育て支援などの多様なライフスタイルに対応した都市機能集積及び交通結節機能の強化とそれに伴う路線バスネットワークの強化による、都市機能がコンパクトに集約した効率的なまちづくりと低炭素化の促進を図ることで、誰もが利用しやすく快適で賑わいのある宮前区の核となる地域生活拠点の形成の実現を目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・一体的かつ総合的に再開発を促進すべき地区における、全建物の指定充足率の充足率を算出する。
 - ・鷺沼駅の1日平均乗降人員の合計を約63,500人／日(H30)から約66,700人／日(R18)に増加

定量的指標の定義及び算定式		定量的指標の現況値及び目標値										備考	
		当初現況値 (H30当初)					最終目標値 (R18年度末)						
・ 2号地区内の商業地域における容積充足率 ・ 鷺沼駅の乗降客数		55%					75%						
		63,500人／日					66,700人／日						
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	86百万円	A	86百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C+D)	0.0%	

交付対象事業

A 基幹事業

B 關連社會資本整備事業（該當なし）

C 効果促進事業（該当なし）

番号	一體的に実施することにより期待される効果	備考

D 社会資本整備田滑化地籍整備事業（該当なし）

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)	67	0	0	43	0
計画別流用 増△減額 (b)	△ 67	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	0	0	0	43	0
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	0
支払済額 (e)	0	0	0	43	0
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h) / (c+d))	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

参考図面（社会資本整備総合交付金）

■基幹事業A-1:再開発
・鷺沼駅前地区市街地再開発事業(約2.3ha)

凡例

- 整備計画区域
- 基幹事業
- 再開発事業区域

3・4・13久末鷺沼線(16)

3・4・14鷺沼線(16)

3・3・11国道246号線(22)

100 m
1:2,500